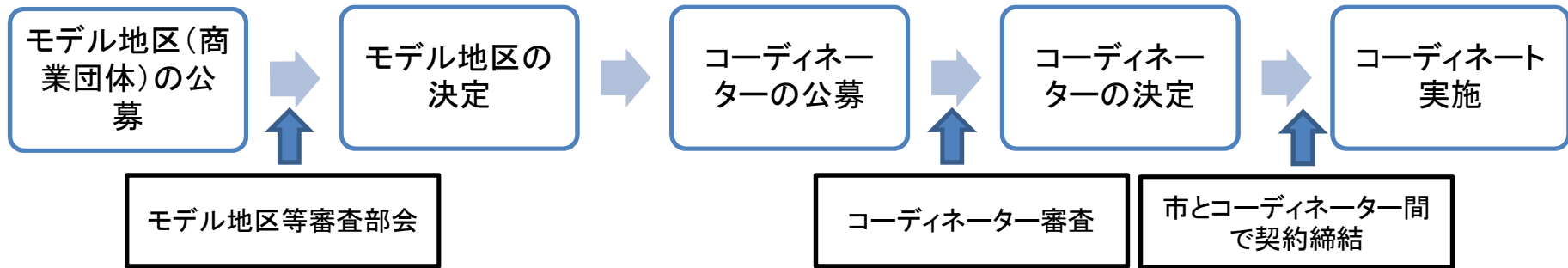


●コーディネーター事業実施までの流れ



●コーディネーター内容例 (小阪、若江岩田、布施地区抜粋。詳細は別紙資料4、5)

小阪
(平成24年度)

- エリア内商店への個別ヒアリングによる現状把握
- ワークショップによる商店街における課題のとりまとめと共有
- まちゼミ企画運営支援(小阪まちゼミの会発足)

など

若江岩田
(平成27,28年度)
※実施中

- 消費者モニターの意見を活用した子育て層への商店PR事業の企画運営支援(H26きらりプロジェクト発足)
- 集積地内商店への個別ヒアリング調査、周辺住民へのアンケートによるニーズ・現状把握
- 商店街イベント、「きらりえがお塾」等の既存事業の効果検証
- 商店主間の意識共有・新規事業の検討(ファシリテート)

など

布施
(平成27,28年度)
※実施中

- 商店街活性化事例研究(座学研修)
- 商店主間の意識共有・合意形成に向けたワークショップ
- ワークショップの結果に基づくグループ事業支援

など